

新年 賀 謹



発行所
11特OB会

連絡先

札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊広報機護室
TEL (011)-581-3191
内線2645

印刷
札幌造型合同会社

主な記事

- 二面 隊区市町村長・協力諸団体挨拶
- 三面 各中隊長・最先任上級曹長挨拶
- 四・五面 わが家のおうち時間の楽しみ方
- 六面 各市町村より
- 七面 令和二年度特科隊冬季山岳機動訓練(基礎)
- 八面 令和二年度職種機能等強化(火力)

新年のご挨拶



第十一特科隊長
一等陸佐 廣岡 睦

新年おめでとうございます。
十一特OB会、やまぶき会をはじめ協力諸団体、そして隊員ご家族の皆様とともに、新しい年を迎えられますことを
お喜び申し上げます。

昨年、輝かしい歴史と伝統を誇る第十一特科隊の隊長に着任し、統率方針「創造せよ」要望事項「地域の信頼」「上下
左右の連携」「心と体の健康管理」を掲げ、着任直後より、新型コロナウイルス感染症防止対策を万全に「任務に備えよ、
コロナに負けるな」を合言葉に隊務遂行に邁進してまいりました。

特に練成訓練においては、「令和二年度第十一特科隊訓練検閲」における優秀な成果獲得を目標に、年度当初から練成
を重ねたほか、「職種機能等強化(火力)」「旅团长射撃訓練」及び「総合戦闘射撃」により火力戦闘部隊として、
実弾射撃により練度の向上・完整に努めてまいりました。

また、年度を通じて「地域の信頼」に応えるべく、各地方自治体で主催される各種防災訓練等に参加させていただき、
コロナ禍にあっても、任務への備えに万全を期すため、連絡・調整の態勢確立、関係充実に取組んでまいりました。

我々自衛隊も創立七十周年の節目を迎え、これも一重に我々を常に支えていただいた地域・社会の皆様方のお陰である
と深く感謝するとともに、任務の必成・必遂への強い使命感・責任感を保持した隊員ひとり一人、そして家族の方々の
努力のたまものであると強く感じております。

今年、特科隊への改編後、干支を一巡し十三年目を迎えます。そして「機動旅団の特科隊」として気持ちを新たに、
これまでの伝統の継承、そして新たな時代に即応するため、引き続き十一特OB会、やまぶき会をはじめ、応援してい
だっている皆様、地域の信頼に応える「部隊の創造」にさらに励む所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



十一特OB会
会長 黒田 則幸

第十一特科隊の隊員並びにご家族の皆様、そしてOB会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
平穩のうちに令和三年の新春を迎えられたことを嬉しく思います。

さて、昨年は新型コロナウイルスの猛威が全世界を席巻し、経済・社会活動に甚大な影響を与え、数多の尊
い人命が奪われ、その脅威は現在も続いております。

そんな中、政府の中小企業向けの救済策である持続化給付金をめぐる不正受給問題や、飲食店向けの救済策であるG O
T o i n i t を利用した、いわゆる錬金術問題の報道がございましたが、最近の日本人は「恥」を忘れたかのような
行いをする人々が多くなったのでしょうか。

このような世相の中にあつて、自らの感染リスクを顧みず献身的に治療にあたる医療従事者の皆様には、頭が下がるば
かりですが、SNSでこれらの人々へのいわれなき誹謗中傷や子供を学校や幼稚園などに通わせないように要請したとい
うのは、どういふことなのかと首をかしげざるを得ません。

医療従事者の皆様のように、危機に際しては自らの危険を顧みず職務に邁進する姿は、国防の大任を担う自衛官も見習
うべき点が多数あるものと思います。

世論調査では、約九割が自衛隊を信頼できると回答しています。
その国民の大きな負託に応えるためにも、愚直に訓練に邁進して実力を涵養して頂きたいと思ひます。
時代は変わり価値観も多様化していますが、陸上防衛力の本質は不変です。
飽くなき精強化の追求を忘れず「強くそして謙虚に」前進して下さい。
OB会一同、全力で応援致します。
第十一特科隊の隊員並びにご家族の皆様そしてOB会員皆様の益々の発展を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

年頭の挨拶



仁木町長
佐藤聖一郎

輝かしい新春を御健勝にて
お迎えることと心からお喜び申し上げます
第十一特科隊の皆様
の益々の御発展と御多幸を祈念いたします



小樽市長
迫 俊哉

謹んで新春のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の皆様にとりまして
本年が素晴らしい年となりますことを
心からお祈り申し上げます



余市町長
齊藤 啓輔

輝かしい新春を迎え
第十一特科隊の隊員皆様の
ご活躍とご多幸
そして貴隊の益々のご発展を
お祈り申し上げます



積丹町長
松井 秀紀

謹んで新年のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の隊員皆様の
一層のご精進と貴隊の益々の
ご活躍をお祈り申し上げます



古平町長
貞村 英之

第十一特科隊の皆様
輝かしい新春を迎えられ
益々のご発展とご多幸を
祈念いたします



余市町自衛隊協力会
会長
中山 尚志

令和三年の新春を迎え
謹んでお慶び申し上げます
世界の平和のため益々の
ご活躍をご祈念申し上げます



自衛隊小樽協力会
会長
山本 信彦

自衛隊 ありがとうございます
ありがとうございます 第十一特科隊



赤井川町長
馬場 希

第十一特科隊の皆様
新春を迎えられ
皆様の御発展と御多幸を
祈念いたします



札幌地方隊友会
定山溪支部長
張替 正敏

謹んで新春のお慶びを申し上げます
第十一特科隊の皆様
の益々のご活躍とご多幸を
心からお祈り申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
余市支部長
青山 由明

謹んで新年のお慶び申し上げます
第十一科隊の皆様と御家族様の
益々の御発展と御多幸を
お祈り申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
小樽支部長
水野 政明

新年あけましておめでとうございます
今年も頼もしい隊員の皆様と御家族が
素晴らしい一年になりますことを
心よりお祈り申し上げます

第11特科隊

中隊長、最先任上級曹長から新年のご挨拶



本部管理中隊長
一等陸尉 富田 智之

新年おめでとうございます。隊員ご家族の皆様並びに協力諸団体の皆様におかれましては平素からご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。昨年三月、第六代本部管理中隊長を拝命し、任務に即応・持続・必遂できる日本一の中隊を育成すべく教育訓練に励んで参りました。昨年も日本を取り巻く安全保障環境がより厳しさを増すなか、世界的な感染拡大する新型コロナウイルス禍により、生活及び勤務環境等様々な変化に対応する年となり、より一層部隊としての強靱性・精強性を求められていると認識しております。

中隊は昨年、訓練班検閲を実施して訓練練度を高め、隊訓練検閲・職種機能等強化及び旅団長射程射撃訓練等において、隊の能力を最大限発揮し得る基盤を確立し、中隊の任務を完遂して参りました。これも隊員ご家族並びに各協力団体の皆様のご理解とご協力のおかげと深く感謝申し上げます。新年を迎え中隊は、「愛♥絆」を胸に隊員ひとり一人の絆を愛で結び新たな本部管理中隊を創造すべく任務に邁進していく所存でありますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様のご多幸、ご活躍を心から祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



第一中隊長
三等陸佐 工藤 一成

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様方から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。令和二年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染拡大防止対策を実施している状況であります。この中、中隊は、二度の練成訓練において段階的に能力を向上させ、六月特科隊訓練検閲を受閲し任務達成に貢献することができました。また、十月の職種機能等強化（火力）及び旅団長射程射撃により実弾射撃の練度が向上し、中隊実射競技会（検閲）において第二位（優良）の成果を獲得することができました。

本年も中隊は「思う」を要望し、隊員一人一人が思考して行動し、相手を思いやり、思い出を残せるように、昨年の成果を活かし皆様のご期待に応えることができるよう日々精進する所存です。引き続きご理解、ご協力及び応援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、本年も皆様のご多幸とご健康を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



第二中隊長
一等陸尉 村田 智宣

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、隊員御家族の皆様、各協力諸団体の皆様から格別の御厚情を賜り誠にありがとうございます。昨年三月、第六代第二中隊長を拝命し、要望事項に「らしくあれ」、「すぐやる、必ずやる、最後までやる」を要望し、教育訓練等に取り組んで参りました。特に、六月の特科隊訓練検閲受閲に際し、隊の良好な成果獲得に貢献することができました。十月には、七年ぶりに実施された、中隊実射競技会において「優勝」、同時に中隊実射検閲「優秀」という最高の成果を獲得することができました。

これも隊員御家族、各協力諸団体の皆様のご理解と御協力の賜物と深く感謝申し上げます。令和という時代に入り、新型コロナウイルス感染症拡大により世界中がこの今も想像を超える事態に見舞われています。この厳しい現状のなか、本年も中隊は、隊員の安全を第一に、いづつ如何なる任務が付与されても直ちに即応し任務を完遂できる精強な中隊を育成して参りますので引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、新しい年が佳き年になりますよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



第三中隊長
三等陸佐 早坂 剛

新春を寿ぎ、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は、隊員ご家族、十一特OB会、やまぶき会会員の方を始め、協力諸団体の皆様におかれましては、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。昨年は、全世界にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルスにより、社会的・経済的影響を及ぼしました。我々自衛隊においても影響を及ぼしましたが、隊員及びご家族のご協力及び部隊として絶え間ない各種対策等を講じて、段階的に充実した訓練を実施して、何時如何なる時にも行動できる中隊の育成に励むことができました。特に、九月に参加した旅団演習及び総合戦闘射撃においては、第三中隊を主軸として、第二十八普通科連隊（函館）と約一カ月間協同訓練を実施し、火力調整から部隊運用・射撃に至る一連の行動を実施し、中隊の実効性を図ることができました。

本年も国民のご期待に応えるよう、中隊一丸となり精強強化に邁進して参ります。何卒変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとりまして、令和三年が良き年となりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



最先任上級曹長
准陸尉 大槻 哲

新年おめでとうございます。隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様におかれましては、平素からご理解とご協力を賜りありがとうございます。昨年は、各種情勢の不安定化、自然災害の多発、新型コロナウイルス感染症の拡散等、社会的不安定な状況のなか、隊員は、様々な目標に対し、自己の任務を良く分析・理解し、あらゆるリスクを予測し、排除し、達成するとともに、新しい生活様式を実践しつつ、教育訓練に取り組み、多大な成果を収める事が出来ました。本年は、昨年の成果・教訓事項を活かし、隊員と共に、地域の信頼、上下左右の連携及び心と体の健康管理を實踐し、いついかなる事態にも即応し、任務を完遂できるように、自覚をもって、上意下達・下意上達に努め、基本基礎・規律に係る状況把握及び指導を実施し、部隊・隊員の更なる精強強化と機動旅団特科隊を創造できるように努めて参りますので、皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年も皆様のご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

わが家のおうち時間の楽しみ方・過ごし方

「コロナに負けるな」前を向こう！ 隊員達の声をお届けします！

幸せいっぱい 新婚さん

本部管理中隊 瀧川三曹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。未だ新型コロナウイルスの収束が見えない中ではあります。ウイルスも心の距離は離せないようで笑。昨年八月に結婚致しました。直接、結婚の挨拶が出来ない方もいましたが、多大なるお心遣いや励ましのお言葉などを頂戴いたしました。ありがとうございます。これからは、妻として、母としてコロナに負けず、精一杯努めていく所存です。

第二中隊 瀧川三曹

昨年八月二十日に入籍しました。既に主導権を握られ、課外は一度気を引き締め直してから家の玄関をくぐっております。円満な夫婦がいつもやっております。ダンシング・第六位！妻のリーダーシップ・決定権が強い！瀧川家もそこを尊重し、コロナと嫁に負けないように邁進して参ります。



瀧川家

本部管理中隊 北山三曹

明けましておめでとございます。世の中は、コロナ禍の中であり、入籍後は家で過ごす時間が多いですが、家事のスキルアップ、嫁との時間を大切に生活しています。今後も北山家の主として、より一層勤務に邁進してまいります。今年も北山家の事をよろしく願います。

第二中隊 北山士長

明けましておめでとございます。何かとコロナの影響で自粛の多いご時世ですが、昨年の六月十七日に入籍いたしました。最近、外出することもおこなわなからない状況なので、部屋の掃除をしたり、料理の勉強を趣味のようにしています。良い妻、良い母として、仕事と家庭を両立できるように、精進して参ります。

北山家



第二中隊 今野二曹

新年あけましておめでとございます。昨年の七月二十四日、入籍しました。また、我が家では、今月に子供が生まれる予定です。コロナウイルスも猛威をふるい話題ばかりですが、家族三人力を合わせ明るく元気に頑張っていきたいと思います。これからもよろしく願います。



写真左 今野二曹

第二中隊 松林三曹

新年あけましておめでとございます。この度、昨年の七月二十六日に入籍いたしました。これからは、夫として自覚を持ち、立場をわきまえて、仕事・家庭を大切に、一杯頑張りまします。また、コロナウイルスにより家での生活が増える今日この頃、なにか資格を取ろうかと現在考え中です。今年もよろしく願います。



第二中隊 長谷川三曹

新年あけましておめでとございます。昨年の七月二十八日に入籍して、名字が岡見から長谷川に変わりました。これからは、一家の長としてより一層職務に邁進していきたいと思っております。これからもよろしく願います。

長谷川家



本部管理中隊 杉下士長

私がこのコロナ禍の中で意識していることは、人混みを避けること、マスクの着用、手洗い、消毒の徹底、この三つです。移動時はもちろん、買い物の際も必ずマスクを着用して、なるべく人混みを避けて行動し、逐次手洗いや消毒を行うようにしています。今もコロナ患者が増えている状況ではありますが、自衛官として、また、一人の人間として今後もこの当たり前の行動が出来るようにしていこうと思っております。



第一中隊 蛭間士長

新年あけましておめでとございます。私も無事に成人を迎えることが出来ました。ここまで育ててくれた両親、指導して下さった先輩、同僚、友人、出会った全ての方へ感謝申し上げます。二十歳という節目の一年、まだまだコロナ等大変な世の中、自分の理想とする大人へ近づけるよう、今までは違う新たな目標として、「広い視野」と「迅速な行動」を心がけ、新しいライフスタイルに順応した立派な社会人として頑張っていきたいと思います。



第二中隊 古川士長

新年明けましておめでとございます。さて、コロナの影響により、なかなか外出する機会が減るなか、自分で新しい自己啓発に励もうと考えているところですが、まずは、早く陸曹になり、部隊の中核を担えるような、知識、技術を身につけて科隊に貢献できるように一生懸命頑張ります。ご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。



第三中隊 横井士長

大人の階段上る 新成人

まだ社会人として未熟な私ですが、今年新成人を迎えました。昨年はコロナウイルスの影響を受け自分自身も外出を控える等、様々な障害のある年でしたが、本年は、自分を磨く良いチャンスととらえ、新しい事にチャレンジするとともに、自覚ある行動を心掛けながら、日々精進していきたいと思っております。



第三中隊 岡田士長

今年成人を迎えた年でもあり、日々出来るが増えると思うので、日々の行動に責任を持ち、自覚ある行動をとれる大人になりたいと思っております。また、コロナ生活の中、外出していた時間を有効に使用して、陸曹になるために駐屯地で体力錬成を行い、日々努力するとともに、プライベートでの趣味を模索したいと思っております。



第三中隊 工藤士長

まずは、成人を迎える事ができたことを、皆様に感謝申し上げます。現在コロナウイルスが猛威をふるっている状況にあります。私は、趣味である駆け足駐屯地内で行い、無駄な外出を避け感染防止に努めます。このような状況に応じた適切な判断が出来るように今後も頑張っていきたいと思っております。



目指せイクメンパパ

本部管理中隊 櫛引曹長

昨今、猛威をふるうコロナ禍のなかではありますが、明るい報告です。令和二年九月二十九日に第三子となる長女、幸(さち)が誕生しました。兄二人に可愛がってもらいながら、兄妹三人すくすくと成長してもらいたいと願っています。新たな家族が増え、より一層勤務に精進して行きたいと思えます。



第二中隊 下館一曹

新年あけましておめでとうございます。昨年十月一日に長女が誕生いたしました。名前は沙羽(さわ)です。コロナウイルスが猛威をふるうなか、わが家では、除菌の毎日に追われています。家族も増え一層訓練に励んでまいります。本年も親子共々宜しくお願いします。



第二中隊 阿武二曹

新年あけましておめでとうございます。暗い話題ばかりの今日この頃、コロナを吹き飛ばすほど、可愛い第三子となる次女夏鈴(かりん)が産まれました。コロナ禍ということで産まれてから退院まで我が子に会えないという、じらしを受けました。二人の子供たちも会えなかった分とて可愛がってつけてます。



元気いっぱい 10代・20代

本部管理中隊 戸井士長

あけましておめでとうございます。早くも自衛隊に入隊して今年で四年目に入りました。新隊員だったあの頃が近い最近のような感覚です。春から陸曹候補生試験があります。それに向け、気を引き締め頑張ります。今年もコロナが流行しており休日に友人と外出する機会が減り家族と過ごす時間が増えました。今では、父の趣味で作ったピザ窯でピザを焼いたりして、仲良く時間を過ごしています。



第二中隊 橋本三曹

近年、世界中で問題になっているコロナウイルスについてですが、日本でも様々な対策が講じられています。私はその中でも「不要な外出は控える」ということで、営内生活でより有意義に過ごすことが出来るものを見つめました。それは、読書です。私は読解力に自信がなく、養うためにも始めました。書店に行けませんから、電子書籍を利用して読んでいます。電子書籍は物によっては、店頭で販売されているものより、安価で購入することができ、コストを抑えながら読解力を養うことができます。私は、映画は観たことはあっても、原作を読んだことが無い作品を読むことにハマっています。



第三中隊 山上三曹

新年明けましておめでとうございます。自衛隊に入隊して五年が経過し、たくさんの方々からご指導をもらい、去年は陸曹に昇任させて頂き、より一層精進していく気持ちで頑張っています。三曹の一員として、中隊の精進化に貢献していきたいと考えています。また、今は新型コロナウィルスの影響により、不要不急の外出は控えておりますが、駐屯地内で駆け足を行う等、現在の環境で自分の出来ることを探し、日々精進していきたいと思っております。



まだまだ若い 30代

本部管理中隊 赤坂二曹

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウィルスで新しい生活様式に変化して大変な一年となりました。外出を極力避ける中で家にいる事が多くなりストレスが溜まると思いましたが、スマホ等で色々と調べた時間が増えてスキルアップしてると同時にシステム関係にとっても興味を持つことが出来ました。今年も資格の取得を目指しつつ今年一年一全集中の呼吸で頑張りたいと思えます。



本部管理中隊 宮島三曹

昨今、新型コロナウィルスが蔓延する中、皆様はどのようにお過ごしですか？私は、読書をする時間が増えたように感じます。近年では、わざわざ本屋に行かずとも、インターネットで本を読むことが可能になりました。私の学生時代では考えられませんが、実際に本屋に赴き表紙を眺め、物手に取り、よく吟味して購入する楽しみを味わうことが出来ません。コロナ騒動はまだまだ続くと思いますが、もし騒動が落ち着いたら、本屋に行きたいと思えます。



第三中隊 中村三曹

新年明けましておめでとうございます。早いものであつという間に三回目の年男になってしまいました。丑年の私ですが、これからは乳牛のようにのんびりと、時には闘牛のように激しく、自分らしく精進していくと思えます。今年こそコロナに打ち勝つべく、二〇二一年もよろしくお願います。



気持ちは若い 40代・50代

本部管理中隊 嶋田曹長

新年明けましておめでとうございます。昨今世間を騒がせております、コロナウイルスではありますが、皆様におかれましては、どうお過ごしでしょうか。私は、兼ねてよりソロキャンプに興味があり、コロナの影響により、なかなか外出が出来ないなか、札幌市内ですがソロキャンプの夢をかかなえる事が出来ました。人のいない場所での静かなキャンプは、自然を肌で感じるとともに、心も体もリフレッシュすることが出来ます。皆さんもこれを機会にデビューしてみたいかがでしょうか？



本部管理中隊 高橋一曹

新年あけましておめでとうございます。昨年春先から続く新型コロナウィルス感染拡大の中、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。私の休日の過ごし方は夏場に妻と一緒に散歩やサイクリングと三密を避けていたのですが、今年は少しでもスーパーで買物をする時間を少なくするため、家庭菜園で野菜を作り密を避けて感染予防に努めていきたいと思えます。自衛官として自覚し、予防する事が仲間を守り国民を守る事だと思えます。



第一中隊 船木一曹

我が家ではコロナ対策のため、ありきたりではありますが家族で四点実施していることがあります。
①外出は必要最小限とし混雑時はさける。
②毎日の検温・こまめな換気
③手すり、ドアノブなどの定期的な消毒
④帰宅後は出来るだけ速やかに入浴若しくはシャワーを浴びる。
基本的な物事こそが一番重要だと思ひ、家族全員で取り組んでいます。新年の目標としては『活模範』とし日々、努力していきたいと思ひます。今年も一年宜しくお願致します。「コロナに負けるな！一戦不可無士君」



令和2年度自衛官等募集内容

- 一般幹部候補生 資格:22歳以上26歳未満の者
- 一般曹候補生 資格:18歳以上33歳未満の者
- 自衛官候補生(男子) 資格:18歳以上33歳未満の者
- 受付期間:年中行っております。
- 試験日:受付時にお知らせします。

防衛省自衛隊札幌地方協力本部南部地区隊
〒005-0008 札幌市南区真駒内17番地
携帯 070-6589-0123
広報官 藪本1曹(元第11特科隊)

各市町村より

各市町村の防災担当者の方より各市町村の取組等の紹介を頂きました。



小樽市 総務部災害対策室

主査 安藤 斉

小樽市

謹んで新春のお祝いを申し上げます。
 小樽市は、当市の地域における災害に関し、防災関係各機関が相互に協力して予防、応急及び復旧の災害対策を迅速かつ的確に実施し、もって市民等の生命、身体及び財産を守ることを目的に、各種防災施策の推進を図っております。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した避難所運営訓練や関係各機関の御参加を得て総合防災訓練を実施する等、感染症対策と災害対策を両立させる施策を推進するとともに、退職自衛官を総務部災害対策室の主査として採用し、災害隊区担当部隊である第十一特科隊との連携強化を図りつつ、防災教育・訓練を担当させております。今後とも当市の防災施策に御協力をお願い申し上げます。今後も、海と山に囲まれた美しい自然と多彩な風景、明治・大正・昭和の面影をしのげる歴史的建造物や特産品、新鮮な食材や料理等、小樽の魅力をお待ちしております。御来訪をお待ちしております。



積丹町役場 総務課

主任 加藤 宏和

積丹町

新年明けましておめでとうございます。
 積丹町は、町民の生命及び財産を災害等から守るため、国、北海道、警察、消防、自衛隊などの防災関係機関や近隣自治体と連携し、災害に強いまちづくりを目指しています。災害非常時に備え、IP告知端末機や屋外拡声器を活用した情報伝達訓練の実施や、要配慮者の支援体制の充実、自衛隊による生地訓練を通じて災害対処能力の向上とともに、関係機関との応援協力体制の確立を進めています。さらに、災害に強いまちづくりに向け、防災学習会の開催や防災訓練の実施、自主防災組織の結成の促進に取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症対策を取り入れた避難所運営訓練など、コロナ禍における災害対策を実施してまいります。積丹町は豊かな自然環境と水産資源に恵まれ、毎年たくさんの観光客が訪れています。本年も感染症対策を徹底し、多くの方に足を運んで頂きたいと思っております。



古平町役場 総務課情報防災係

主事 太田中 康宏

古平町

新年明けましておめでとうございます。
 古平町は町民の生命及び財産等を災害等から守るため、電気・水道・ガス・電話などのライフラインの整備、北海道、北海道警察、自衛隊などの防災関係機関や、他自治体との連携・協力等に注力し、大規模災害にも対応しうる災害に強いまちづくりを目指しております。併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止等を念頭に置き、医療部局はじめ各部署と綿密に連携をとりながら新たな体制づくりを進めてまいりたいと思っております。令和三年度においては、新型コロナウイルスの状況を鑑みながら、開催できなかった行事を自衛隊とともに実施していければと思います。また、古平町は水産業が盛んな地域であり、たらこやウニなど四季折々の美味しい海産物が楽しめます。夏は海水浴やキャンプ等で各地から観光客が訪れ、賑わいをみせます。令和三年度も様々なイベントを企画しておりますので、ぜひ足をお運びいただければと思います。



仁木町役場 企画課情報防災係

係長 齊藤 正吾

仁木町

新年明けましておめでとうございます。
 仁木町は、町民の生命及び財産を災害等から守るため、北海道、北海道警察、自衛隊、消防などの防災関係機関との連携や協力に力を入れ、災害に強いまちづくりを目指しています。また、防災訓練等を通じて、地域住民の防災意識の高揚に努めています。昨今、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症対策としては、避難所用間仕切りの導入や避難所運営マニュアルの改定等を進めてきました。今後においても防災関係機関との連携強化を図り、感染症と大規模災害に対応しうる防災体制を確立してまいります。また、果物栽培を主要な産業としている仁木町では、新たな特産品としてシャインマスカット『ラ・ラ・シャイン』をブランド化しました。種が無く、心地良い歯ごたえで、独特の芳香と爽やかな甘さが口いっぱい広がります。百貨店等で見かけましたら、ぜひ手にとってみてください。



余市町総務部 地域協働推進課

主幹 岡 欣司

余市町

新年あけましておめでとうございます。
 余市町は、北海道積丹半島の入り口に位置し、緩やかな丘陵を背後に、北海道に面した平野沿いに市街地が広がる町です。余市町の防災体制として、防災関係機関、他自治体との連携や協力などを重視し、災害に強い街づくりを目指しています。中でも、第十一特科隊と平成二十七年一月に、「大規模災害時等の連携に関する協定書」を締結し、災害応急対策を迅速かつ円滑に行うための連携を強化しているほか、令和二年度北海道原子力防災訓練においては、町民救出訓練にご協力いただいていたところであり、安全に平素より、ご尽力いただいていると感謝いたします。また、余市町は、風光明媚な地域であり、海産物、季節の果物などが味わえるほか、各種のイベントも開催しており、余市インターチェンジが開通し、札幌方面からのアクセスも大幅に向上しているため、今年も隊員の皆様にも是非、足を運んでいただきたいと思います。



赤井川村役場 総務課企画地域復興係

主任 田中 雄大

赤井川村

新年あけましておめでとうございます。
 赤井川村は、四方を山々に囲まれたカルデラ状の地形をなしています。比較的災害が少ない場所となっておりますが、赤井川村では平成十六年の台風や平成三十年のブラックアウトによる停電の長期化を踏まえ、福祉避難所への非常用発電機の設置を進めており、災害避難所の体制整備に努めているところであり、他にも避難所利用時での新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サージカルマスクやパーティションなどの配備も進めています。赤井川村は、前述の土地柄により昼夜の寒暖差が大きく農産物を栽培するのに適した環境となっており、この環境で栽培された農作物は道の駅あかいがわ等で購入することができます。また、冬は道内有数の豪雪地帯でもあり、パウダースノーを楽しめるキロロリゾートには国内外から多くの観光客が訪れます。赤井川村のお近くをお通りになる際は是非お立ち寄りください。

※ 昨今の社会環境の状況を踏まえ、急遽ご協力いただき大変ありがとうございました。
 自衛隊としても地域とともに引き続き精進して参りますので、よろしくお願ひします。

令和二年度特科隊冬季山岳機動訓練(基礎)

隊は、令和二年八月三日から七日までの間、真駒内駐屯地レンジャー塔及び北海道大演習場西岡地区において、令和二年度特科隊冬季山岳機動訓練(基礎)を実施した。

本訓練は、冬季山岳機動要員の練度の維持及び指導者の育成を目的として、冬季山岳救助対処の資を得るため、ロープ結索法、懸垂下降、登高法、地図判読等を演練した。

訓練間、隊長は、レンジャー塔の最上部から視察をして、訓練参加者を激励するとともに、その練度を確認した。

また、訓練参加者は、冬季山岳機動を想定し、段階的に山岳機動及び遭難者の救出・救助に必要な基礎技術を習得するとともに、指導者としての能力を向上させた。

▲要救出者の引き上げ

▲レンジャー塔上部からのローワダウン



▲登高法の訓練



▲地図判読による山地機動

令和二年度一般陸曹候補生課程後期及び新隊員特技課程並びに特技変換教育「基本野戦砲」修了式

隊は、令和二年九月十八日、真駒内駐屯地において、令和二年度一般陸曹候補生課程後期及び新隊員特技課程並びに特技変換教育「基本野戦砲」の修了式を行った。

新隊員等は、七月六日に教育を開始し、約三ヶ月にわたり、野戦特科隊員として必要な特技「基本野戦砲」に関する知識及び技能の習得と同期の絆の深化を図った。

修了式における隊長式辞では、新隊員等に対してこれから配置される部隊等において、更なる戦技能力の錬磨に努めることを要望し、各隊員は隊長の言葉を胸に、野戦特科隊員としての決意を固くした。



▲真剣な眼差しで式に臨む新隊員



▲教育優秀者への賞状の授与



▲隊長式辞

令和二年度演習場秋季定期整備

隊は、令和二年十一月四日から十一月十一日までの間、真駒内射撃地区、西岡地区の道路等及び島松地区の訓練施設等の整備並びに弾着区域において令和二年度演習場秋季定期整備を行った。

本演習場整備は訓練基盤を充実させる目的で実施した。

また、本演習の取り組みとして、隊本部と現地整備隊との間に無線通信網を確保して、広帯域多目的無線機を使用した部隊のモニター表示を行うとともに、各中隊の練成要員による野外炊事を行い、野外給食能力の向上を図ったほか、若年隊員を長とした実員に対する指揮能力を向上するなど、伝統の継承、兵站能力の向上を目的とした強い部隊及び健全な隊員の育成を図ることができた。

本演習場整備間、適切な部隊運用により、計画的に整備を進めるとともに、一件の事故もなく任務を遂行し、十一月十一日の旅団長点検をもってすべての任務を完遂した。

▲第二射場の整備

▲弾着区域整備



▲築城資材の整備



▲野外炊事

令和二年度 職種機能等強化(火力)

隊は、令和二年十月三日から十三日までの間、矢別演習場において令和二年度職種機能等強化(火力)に参加した。

隊は、本訓練において対抗部隊砲兵群として陣地占領・射撃等の火力戦闘の現示を行うとともに、基本的行動及び基礎動作(敵を意識した行動)の練度を向上させる目的で参加した。

十月五日から八日までは、火力戦闘のための準備を行うとともに、十月九日からは、二夜三日にわたり、火力戦闘を行った。

火力戦闘は、昼夜を問わず頻繁な小移動により健在性を保持した迅速な射撃及び適宜な陣地変換により、実戦的な現示を追求して、対抗部隊砲兵群としての任務を完遂した。

▲編成完結式



▲目標標定器による距離の測定



▲通信小隊による車両構成



▲頻繁な小移動をする火炮



令和二年度 旅団長射程射撃訓練

隊は、令和二年十月十四日から二十五日までの間、矢別演習場において令和二年度旅団長射程射撃訓練を行った。本訓練は、令和元年度の実射検閲における不備事項の是正及び隊の射撃練度向上を図り、併せて中隊実射競技会(検閲)を実施して、団結の強化、隊員の士気の高揚と中隊以下の実射練度の完整を図る目的で行われた。

旅団長射程射撃訓練では、旅団長による訓練視察を受け、隊員に対する激励をいただいたほか、関係弾道癖、特科隊練成、中隊練成射撃等を行い精度及び速度の練度を向上した。

また中隊実射競技会では、全隊員が一丸となって勝利を追求するとともに、各中隊は、これまでに練成した成果を遺憾なく発揮した。

中隊実射競技会は平成二十五年に実施して以来、七年ぶりに行われたが、第二中隊が優勝し、見事に二連覇を果たした。

▲第十一旅団長による隊員の激励



▲気象班による放球



▲射撃陣地からの射撃



▲胴上げされる優勝中隊長



令和二年度 旅団観測者集合訓練

隊は、令和二年十一月二十二日から十一月二十七日までの間、真駒内駐屯地、北千歳駐屯地及び北海道大演習場島松地区において、令和二年度旅団観測者集合訓練を担当・実施した。

当初の三日間は真駒内駐屯地において、火炮の特性、観測命令、火力の統制及び調整に関する基本の教育を行うとともに、砂盤、統合火力誘導ソフト等を活用し、射撃の判定・射撃の修正を練成した。

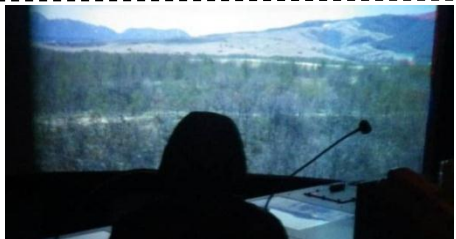
十一月二十五日からは、北海道大演習場島松地区において、令和二年度旅団総合戦闘射撃訓練の場を活用し、自己位置の標定・目標標定及び射撃の観測訓練を行った。

また、北千歳駐屯地において、観測シミュレータを活用した観測訓練を行い、観測者としての間接照準射撃の観測等の練度を向上させた。本訓練を通じ、訓練参加者の間接照準射撃の観測に必要な識能の修得、練度向上を達成し、本訓練を終了した。

▲砂盤を使用した射撃の判定



▲観測シミュレータによる観測訓練



▲砲迫情報幹部による実施要領の説明



▲特科、重迫等の実射の観測



一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更
新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

OB等への連絡とお願い

二 叙位及び死亡叙勲に 関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなり。万が一、ご本人が亡くなられた場合は、死亡日を含めて五日以内に最寄りの地方協力本部、第十一特科隊へ連絡下さいますことをご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

電話〇一一一五八一―三二九一
(内線二六四七) 担当 嶋田

電話〇一一一五八一―三二九一
(内線二六四五) 担当 天野